

令和2年度当初予算知事審査における主要な議論

(環境部・都市整備部)

■ 埼玉版スーパー・シティ推進事業費 (B21)

知事 コンパクトシティの取組を進めていくためには、エネルギーなど何かしらのインセンティブが必要になってくる。特に「地域特性に応じた方策」・「コスト分析」を市町村に示すことが重要だと考えている。

環境部 「地域特性に応じた方策」では63市町村で示すことは難しいが、地域に応じたイメージを示すことにより一定の「コスト分析」を示したいと考えている。

都市整備部 市町村ごとの基礎データの収集・分析と将来的な都市構造の見える化を行い、63市町村の「将来の行政コスト」を含む都市の現状と将来を示すことにより、コンパクトシティの必要性を認識していただくと考えている。

知事 市町村との連携が不可欠だが、どの段階から市町村ヒアリングを行っていくのか。

環境部 市町村課題の聴取もするので、情報提供をしながら年度当初から行っていきたい。

知事 災害ハザードエリアを踏まえた防災まちづくりも重要である。この事業はコンパクト、スマートだけではなく、レジリエントを組み合わせたプラットフォームでやっていただきたい。

環境部及び
都市整備部 了解した。

令和 2年度予算見積調書

課室名：エネルギー環境課
 担当名：住宅等省エネルギー推進担当
 内線：3187 (単位：千円)

番号	事業名			会計	款	項	目	説明事業				
B21	埼玉版スーパー・シティ推進事業費			一般会計	総務費	環境費	環境保全推進費	低炭素分散型エネルギー社会構築事業費				
事業期間	令和 2年度～	根拠法令	都市再生特別措置法				宣言項目 分野施策	10 051142	新たなエネルギー社会の構築 環境に優しい社会づくり			
1 事業概要 超少子高齢社会の様々な課題に対応するため、コンパクトシティの取組を核に、エネルギーなどをインセンティブとし、AI、IoT、5Gなどの新技術を活用した超スマートで、強靱性の高いまちづくりを進める「埼玉版スーパー・シティプロジェクト」を推進し、県内市町村の地域特性に応じたまちづくりを支援する。 (1) 埼玉版スーパー・シティ推進事業費 39,175千円				5 事業説明 (1) 事業内容 ア 庁内検討チームの設置 部局横断による検討チームを設置し、まちづくり等の課題について市町村に対するヒアリング及び民間企業との意見交換を実施 イ 市町村等への専門家の派遣 地域特性に応じたまちづくりを積極的に支援するため、市街地のコンパクト化や地域課題解決に資するスマート化の推進に意欲のある市町村の希望に応じて専門家を派遣 ウ 地域特性に応じた方策等の検討 (ア) 市町村の地域特性を踏まえたまちづくり方策の検討・提示 (イ) 再生可能エネルギーなどの利活用についての調査・検討						1,429千円	3,883千円	33,863千円
2 事業主体及び負担区分 (県10/10)				(2) 事業計画 令和2年度 まちづくりの主体(市町村)を支える推進体制の構築 着実な推進に向けた取組								
3 地方財政措置の状況 なし				(3) 事業効果 部局横断による検討チームを設置し、県内市町村の抱える課題を把握してコンパクト化に向けた市町村のまちづくりを支援していくことで、「日本一暮らしやすい埼玉県」を実現する。								
4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員 9,500千円×2.0人=19,000千円												
予算額		財 源 内 訳							一般財源	前年との 対比		
決定額	39,175							39,175	39,175			
前年額	0							0				

令和 2年度予算見積調書

課室名：都市計画課
 担当名：総務・企画担当
 内線：5337

(単位：千円)

番号	事業名			会計	款	項	目	説明事業	
B9	コンパクトシティ推進事業			一般会計	土木費	都市計画費	都市計画総務費	コンパクトシティ推進事業費	
事業期間	令和 2年度	根拠法令	なし				宣言項目 分野施策	061352 快適で魅力あふれるまちづくり	
1 事業概要 持続可能なまちづくりの実現に向けて、市町村のコンパクトシティの取組を促進するとともに、埼玉版スーパー・シティプロジェクトの検討に活用する。 (1) コンパクトシティ推進事業費 18,220千円				5 事業説明 (1) 事業内容 市町村ごとの基礎データを収集・分析し、都市構造を見える化することで、コンパクト化の促進や、埼玉版スーパー・シティプロジェクトにおける地域特性に応じた方策の検討に活用する。 (2) 事業計画 ア 市町村ごとの基礎データの収集・分析 都市全体を見渡す視点で、市町村ごとの将来人口分布や高齢化の進行状況、商業施設の立地などのデータを収集・分析する。 イ 将来的な都市構造の見える化 地域の特性や課題を視覚的・直感的に認識できるようにするため、収集したデータの経年変化を地図上に3Dグラフで表現する。 (3) 事業効果 市町村のコンパクト化の取組促進 埼玉版スーパー・シティプロジェクトにおける地域特性に応じた方策の検討に活用					
2 事業主体及び負担区分 (県10/10)									
3 地方財政措置の状況 なし									
4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員 (1) 事業費に係る人件費 (2) 組織の新設、改廃及び増員 なし									
予算額		財 源 内 訳						一般財源	前年との 対比
決定額	18,220							18,220	18,220
前年額	0							0	